

ふしょうっこ日記

令和8年1月28日

研究授業(2年音楽科・3年理科)

今日は、研究会を行いました。2年生の音楽科、3年生の理科の授業でした。

2年生は、「くりかえしのよさを見つけよう」という鑑賞の学習でした。「楽曲を分析しながら、楽曲全体に与える繰り返しの役割の大切さについて考えその良さを感じることができる」というめあての学習でした。「トルコ行進曲」をタブレットを使って、ペアで繰り返し聞きながら、「バイオリンの音がする」「音が大きくなった」「同じ音楽が繰り返されている」等、分析したことをプリントにどんどん書き入れていきました。タブレットだと、曲の途中から聞くこともできます。友達の意見を聞いて、確かめるように繰り返し聴く姿も見られました。しっかりと分析して、よさをまとめることができました。



3年生は、「音ってどんなもの?～音のせいしつ～」という学習でした。クモの巣系電話を用いて音の聞こえ方や物の震え方について調べ、音の性質について考えました。ペアで作った糸電話を重ねて、4人で音を聞くことができるかどうかを試しました。結果は、聞こえました。結果が出ると、子供たちは6人、8人と人数を増やしたり、立ったままの人と床に座る人に分かれて高さを変えて試してみたりと、様々な条件を変えて実験を続けました。糸が重なっても震えが伝わることを実感していました。

